

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

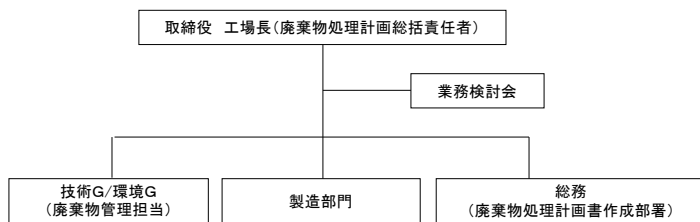
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		2022年 6月29日
静岡県知事 川勝 平太殿		
提出者		
住所		静岡県富士市南松野2329
氏名		花王製紙富士株式会社
		代表取締役 萬條 司
電話番号		0545-85-2630
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	花王製紙富士株式会社	
事業場の所在地	静岡県富士市南松野2329	
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業	
② 事業の規模	4.4億円	
③ 従業員数	40人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥(製紙スラッジ)→自己中間処理(脱水)→自己中間処理残さ→委託処分(再利用) ・原材料納入パレット→木くず→委託処分(破碎→焼却→再利用) ・原材料の梱包材→廃プラ類→委託処分(燃料利用) ・生産工程で発生した廃プラと紙くず→廃プラ類→委託処分(破碎)→委託処分(固形燃料化) ・ボイラー用薬品タンク廃棄時の廃液→廃アルカリ→委託処分(中和)→委託処分(焼却)→委託処分(再利用) 	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ
	排出量	53,996.0t (PS: 1,079.92 t)	1.48 t	12.56 t	0.34 t
	(これまでに実施した取組) ・脱水用スクリーンプレスの日々の運転管理強化 ・凝集ポリマー添加の最適化 (スクリーンプレスでの脱水性の向上) ・分別回収による環境負荷への低減 ・汚泥水分率の削減対策				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ
	排出量	53,450t (PS: 1,069 t)	1.2 t	11.0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・脱水用スクリーンプレスの日々の運転管理強化 ・凝集ポリマー添加の最適化 (スクリーンプレスでの脱水性の向上) ・分別回収による環境負荷への低減 ・汚泥水分率の削減対策				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・処分先ごとに、分別回収 ※分別回収することで、鉄くずは有用物として外部に売却出来ている ・分別回収した保管品の3Sの徹底 ・分別表示の改善と従業員教育による分別管理の強化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・処分先ごとに、分別回収 ※分別回収することで、鉄くずは有用物として外部に売却出来ている ・分別回収した保管品の3Sの徹底 ・分別表示の改善と従業員教育による分別管理の強化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（2021年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	
	(これまでに実施した取組) ・該当なし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（2021年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	52,916.08 t	— t	— t	— t	
(これまでに実施した取組) ・スクリーンプレス洗浄強化による運転の安定化 ・スカムの濃度調整による凝集改善 ・脱水用スクリーンプレスの日々の運転管理強化						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	52,381 t	— t	— t	— t	
(今後実施する予定の取組) ・スクリーンプレス洗浄強化による運転の安定化 ・スカムの濃度調整による凝集改善 ・脱水用スクリーンプレスの日々の運転管理強化						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（2021年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	
	(これまでに実施した取組) ・該当なし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（2021年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	全処理委託量	1079.92 t	1.48 t	12.56 t	0.34 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1.48 t	10.94 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	1079.92 t	1.48 t	12.56 t	0.34 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) ・1回/年の廃棄物収集運搬業者、処理業者への現地確認の実施 ・ゼロエミッション達成の継続 ・分別回収の推進						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥 (製紙スラッジ)	木くず	廃プラ類	廃アルカリ	
	全処理委託量	1069.0 t	1.2 t	11.0 t	0 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	1.2 t	11.0 t	0 t	
	再生利用業者への処理 委託量	1069.0 t	1.2 t	11.0 t	0 t	
	認定熱回収業者への処 理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・1回/年の廃棄物収集運搬業者、処理業者への現地確認の実施 ・ゼロエミッション達成の継続 ・分別回収の推進					
※事務処理欄						